



家庭学習の手引き

6年生

保護者のみなさまへ

家庭学習には、学習したことを定着させたり、苦手な部分を自分のペースで学習して克服したり、さらに自分の得意なことを伸ばしたりできるよさがあります。また、一定の時間、家庭で学習するという習慣を身につけることは、これから先とても大切です。毎日続けて家庭学習をしましょう。ご家庭でもしっかり声かけをお願いします。だらだらと長い時間をかけるより、**集中して取り組む**ことが大切です。

- 1 宿題は、必ず正確にしていねいにしましょう。
- 2 決まった時間に、決まった場所で学習しましょう。
- 3 テレビを見ながら・・・、おかしを食べながら・・・といったような「ながら」勉強はやめましょう。
- 4 自分にあった学習の仕方を工夫しましょう。声に出して読んでみたり、ノートや紙に何度も書いて覚えたりしましょう。まちがえたものは何回もやり直し、同じまちがいをくり返さないことが大切です。
- 5 自主勉強ノートを作って、自分の課題を見つけ勉強をしましょう。
- 6 時間は人によってちがいますが、6年生は、1時間以上が目安です。

<自主勉強の仕方について>

自主勉強とは、自分で自分の課題を見つけて取り組む勉強です。今、自分に必要な勉強は何か、自分の興味のあることは何かと考え、苦手なところをくり返し復習したり、得意な分野をさらに伸ばしていったりする勉強です。

(やり方)

- 1回1ページを目安にやりましょう。慣れてきたら、もう少しページを増やしてもOKです。
- 日付とやり始めた時刻、終わった時刻、題名や学習する教科を書いておきましょう。
- 最後にその日勉強した感想を書いておきましょう。

6 / 5 (月)	国 語 (漢ド P8 ①~⑩)	6 : 00 ~ 6 : 50 (50分)
-----------	-----------------	-----------------------

(内容)

- ◎ドリルなどくり返す学習 (答え合わせやまちがい直しをしましょう)
- ◎調べる学習 (習ったところをさらに深める勉強、体験したことをまとめる勉強)
- ◎その日体験したこと、本やニュースで知ったことについて自分の考えや感想を書く学習
- ◎要点をまとめる学習 (教科書などの大事なところだけを書く)

★自主勉強メニュー<例> ※ 参考にしてください。

6年

★ 国 語

- ① 学習したことをまとめ、さらに深める。(宮沢賢治の他の作品、俳句、短歌等)
- ② 習った漢字を練習する。(読みがな・送りがなをつけよう)
- ③ 習った語句や漢字を使って短文を作る。
- ④ 教科書の写し書き(視写)。
- ⑤ プリントやテストのまちがったところを復習する。
- ⑥ わからない言葉の意味を辞書で調べる。
- ⑦ 新出漢字の読み方や筆順を漢字ドリルで調べ、使い方を練習する。
- ⑧ 教科書を読んで、感想を書いたり、自分の考えをまとめたりする。
- ⑨ 読書記録(心に残った場面の絵や感想)
- ⑩ 選んだ新聞記事を要約し、考えや意見を書く。(新聞記事を切り取って自主勉ノートに貼ってもよい。)

★ 算 数

- ① 学習したことをまとめる。
- ② 教科書の練習問題を繰り返し解く。(算数アスレチック、たしかめましょう等)
- ③ 自分で問題を作って解いてみる。
- ④ プリントやテストのまちがったところを復習する。
- ⑤ 計算ドリルを解く。(答え合わせやまちがい直しもする)
- ⑥ 次に学習するところを、調べたり解いたりする。
- ⑦ 習った単位の復習をする。(面積・体積・容積・きより・重さ)

★ 社 会

- ① 習ったところの要点をノートにまとめる。
- ② 学習したことをさらに深める。(本や百科事典、インターネットなどで)
- ③ 資料から分かったことをまとめる。(人物、出来事、歴史的背景等)
- ④ 新聞やテレビ等で知ったできごとを詳しく調べてみる。
- ⑤ 地図帳で県名・県庁所在地や国名・首都を覚える。

★ 理 科

- ① 見つけたこと、観察したこと、考えたことをまとめる。(植物、動物、自然)
- ② 学習したことをさらに深める。(本や百科事典、インターネットなどで)
- ③ 要点をまとめる。(道具の名前、実験の仕方、注意すること等)

家庭科、英語
 体育(保健)
 音楽・図工など
 からもテーマを
 見つけてみよう!

続けることが大切だよ!
 自分のための学習です。
 やったことは、必ず自分の力になるよ。

